

# 青年部 だより

恒例

# 海の子学園もちつき大会

## 感心しきりの座談会

昨年12月2日(日)、海の子学園餅つき大会に参加してきました。前回は前日準備だけの参加で、当日は2年ぶりに参加しました。

私はフランクフルトの屋台に参加し、先輩方に教わりながら、フランクフルトを焼きました。子供たちには大好評で、行列ができる程で出来映えは良かったと思います。マスタードをかけるかかけないかで友達と軽い口論してる子供たちがいましたが、フランクフルトを食べると仲良く手を繋いでる姿を見ると、上手くできて良かったと心から思いました。

午後からは座談会に参加しました。まず自己紹介をし、3班に分

かれて座談会が始まり、私は中学生・高校生の班に入って座談会をしました。

女子中学生に私の過去に思ったりしてた事や、なぜそうしたかをズバズバ当てられ、「この人、俺の過去なんて全て分かってんの?」と思いました。

高校生にはすごい感心というか尊敬をもしました。それは夢があった、働きたい仕事がある事を真っ直ぐに伝える姿にでした。私の高校生時代と比べるととても輝かしく、すごいなと感心しきりでした。一応、人生の先輩としてもっと勉強しとけば良かったと思ったこととか、免許等は早くに取りに行っ

た方が良いよ!とかアドバイスを送り、座談会は終了しました。

終わってからの反省会は、今後活かすため、反省点などを海の子の先生方と語り合い、私も今回参加して本当に良かったですと感想を話しました。学園から出して頂いたサンドイッチがめちゃくちゃ美味しかったです。

社会人になりこういう機会が本当になく時代、子供たちとふれあう事で楽しみや勉強させられる部分を、分かち合えて本当に良かったと思います。また来年も、参加しようと思う1日でした。ありがとうございました。

水口 亮太 (サンユ一分会)



▲学園から届いたお礼の色紙

ンバーを子どもたちも覚えているようで、話しかけられることも多く、絆が脈々と受け継がれてきたように感じます。

子どもたちの一生懸命さを見ると、達成感にあふれて、笑顔になれます。まるで子どもたちから元気をもらっているかのようでした。自分たちがそう感じているように、子どもたちも何か感じてもらえていると思います。次回も逢える時が楽しみで、まるで今回つきあげたお餅のように、粘り強く、伸びても離れないような関係でいたいと思います。

伊藤 悠太 (此花荷役分会)

## 貴重なふれあい体験

澄んだ空気と青い空がとても冬のらしい中、海の子ふれあいまちつき大会は開催されました。

青年部のメンバーはそれぞれの仕事をしながら、子どもたちが餅をつくときのとても大きい声援と、かけ声に笑顔になれました。もちつき大会は進んでいき、模擬店も始まり、おでんやフランクフルトを美味しいと食べているのを見て、またもほっこり。

午後からは、座談会、ドッジボール、紙芝居を行いました。ドッジボールでは寒さに負けず元気いっぱいな子どもたちと対戦し、勝ったり負けたりといい試合を繰り広げました。あちこちから飛び交う声援には大人たちを応援する声も

あり、距離がとても縮まるドッジボールでした。楽しい時間があっという間に過ぎ、閉会式の時間に子どもたちからのお礼の言葉や、サンタクロースからのクリスマスプレゼント。子どもたちのいい思い出になればと思いました。



このもちつき大会で、たくさんの子どもたちと対話したり、ふれあうことは貴重で、ほかではできないと思います。過去の青年部メ

# だんけつ



発行 行  
大阪市港区築港1-12-27  
全日本港湾労働組合関西地方大阪支部  
発行責任者 國分仁昭

# 迎春



## 弾圧と改憲を許さない運動を!

執行委員長 樋口 万浩

組合員の皆さん、新年明けましておめでとうございます。支部執行委員会を代表して、新年のごあいさつを申し上げます。

労働運動における昨年の特筆すべき事件は、なんと言っても、警察権力が全日建連帯関生支部の役員・組合員たちを、再逮捕も含めて延べ46人も不当逮捕した大弾圧事件です。この弾圧の本質は、産別労働運動への弾圧、大資本に対抗する協同組合活動への弾圧などと共に、「共謀罪適用のリハーサル弾圧という側面」(12.6秘密保護法対策・共謀罪対策弁護団声明)があり、資本・権力の悪らつな労働運動つぶし・市民運動つぶしと言えます。私たちは、各級議員、弁護士、市民運動家などと共に共謀罪の先取り弾圧を許さない陣形を構築して、闘いを強化する必要があります。

さて今年前半は、4月の統一自治体選挙、5月の天皇代替わり行事、6月のG20大阪サミット、7月の参議院選挙(及び「大阪都構想」の再住民投票)と、重要な政治日程が目白押しです。

改憲発議が遅れて焦っている安倍内閣は、これらの政治日程が終わった秋にも、憲法9条に自衛

隊を明記し、「緊急事態条項」を新設しているするなど、極めて反動的な自民党改憲案を画策しています。あるいは、通常国会での強引な発議も否定しきれません。

私たちは今年、各級選挙に勝利し、院内外で立憲野党と連携して、自民党改憲案を憲法審査会へ出させない、そして改憲発議をさせない闘いを強化しなければなりません。

同時に労働現場では、「働き方改革法」の空洞化や、4月から施行される「出入国管理及び難民認定法」によって大幅増加が予想される外国人労働者との連帯、そして辺野古新基地建設反対等、アメリカ追従、日本の軍事大国化に反対する闘いを強化する必要があります。さらには原発再稼働反対、水道・農業・漁業など多くの分野における「民営化」という名の(海外)資本への日本資産の売り飛ばしなど、安倍政権の“亡国政治”を許さない闘いも必要です。

課題は多岐にわたっていますが、今が、正念場です。共に奮闘しましょう!